資料５－３

令和７年４月２４日
瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会資料

令和７年度瑞浪市夢づくり地域交付金事業

【瑞浪地区
まちづくり推進協議会】

●申請の概要

事業数	４事業
事業費総額	２，６３２，７００円
交付金限度額	２，５７７，０００円
交付金申請額 （うち加算額）	２，５７７，０００円 （０円）

●添付資料

・交付申請書及び事業計画書　P1～P13
・参考写真　P14～P16
（令和７年度夢づくり地域交付金事業のイメージ）

様式第１号（第６条関係）

令和7年3月14日

瑞浪市長　様

（申請団体）
所在地：瑞浪市上平町1丁目１番地
名称：瑞浪地区まちづくり推進協議会
代表者氏名：会長　坂井　宗明

夢づくり地域交付金交付申請書

（通常事業　・　ステップアップ事業　）

このことについて、下記のとおり関係書類を添えて申請します。

記

１．事業名

単位：円

事業名	事業の種類	交付金申請額
安全・安心なまちづくり事業	ア、エ、オ	501,300
潤いのあるまちづくり事業	イ、カ、キ	806,500
地域内の交流が活発なまちづくり事業	イ、ケ、コ	852,000
広報事業	ケ、コ	417,200
（　　）基金積立事業		
合計		2,577,000

※　通常事業の申請の場合、事業の種類欄に、規則第１条の２第１号に規定する事業ア～スのうち該当するもの全てを記載すること。

２．添付書類

（１）　事業計画書（様式第２号）
（２）　まちづくり推進組織の規約
（３）　まちづくり推進組織の総会資料または確約書（様式第３号）
（４）　区長会による夢づくり地域交付金事業実施承認書（様式第４号）

注）上記以外の添付書類がある場合は、連番を付して記載すること。

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

安全安心なまちづくり事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

課題

人口減少や高齢化、ライフスタイルの多様化などの社会的変化により、地域住民のつながりが弱まっていると感じる方も多いかと思います。担い手不足や活動のマンネリ化に対処するためには、新しいアイデアや若い世代の参加を促すことが効果的です。また、防犯・防災活動への参加を通じて、地域住民のつながりを強化し、共助の精神を育むことが大切です。

活動内容

１，防犯事業

青色回転灯防犯パトロール活動は、子供たちの安全を確保するだけでなく、地域コミュニティの絆を強化する重要な役割を果たしています。これらのパトロール活動は、犯罪の予防にも寄与し、地域住民が互いに協力し合うことで、より安全安心な環境を作り出すことができます。

２，防災と安心安全事業

①自主防災訓練

自助、共助、公助の精神に基づき、地域社会が一丸となって災害に立ち向かう体制を整えることで、万が一の時にも迅速かつ効果的な対応が可能になります。地震災害に備えて、非常食の作り方や飲料水の確保そして段ボールトイレの作り方などをテーマにした自主防災訓練を行います。

②普通救命講習会

突然、大切な家族や友人、近くの人が倒れたら一刻も早い心肺蘇生が必要のため普通救命講習会を実施します。

３，健康づくり事業

①土岐川堤防健康ウォーキング

土岐川堤防沿いでの健康ウォーキングは、家族向けのイベントとして、楽しみながら健康に良い活動を行うことができます。

②健康講演会

健康に関する講演会は、身体や心の健康についての知識を深める素晴らしい機会です。地域住民の健康を促進する取り組みです。

４，見守り事業

今、子どもや高齢者の安全と安心を守る「見守り事業」が注目されています。地域のお祭りや「いきいきサロン」などのイベントを通じて、子どもたちが高齢者と触れ合う機会を創りことで、相互理解と尊敬の精神を育み、地域全体の福祉と連携を深めることができます。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

１，防犯事業

青色回転灯防犯パトロールによる巡回は、毎月第１第３金曜日午後３時から小中学校通学路を中心に、第２第４第５金曜日午後7時からからは地域全体を対象に実施します。延べ１３０名（年／40日）で行います。

２，防災と安全安心事業

①地震災害に備え自主防災訓練の開催

訓練への参加者は、各区役員及び防災対策担当者（一般区民参加可）で１００名の参加者で開催します。

②普通救命講習会（３時間講習）

参加者は各区役員と活動に不安を感じている方々や地域の奥さんを対象に１回２０名程度で２回開催します。

３，健康づくり事業

①土岐川堤防健康ウォーキングを春に１５０名の参加者で開催します。

②「健康寿命を延ばすためには！」と題して健康講演会を、域学連携を活用して中京学院大学または中部学院大学を講師に招き、参加者５０名で開催します。

４，子ども高齢者見守り

地区で開催されるお祭りや「いきいきサロン」のイベントを利用し「昔の遊び」（けん玉・こままわし）などの交流会を１回以上行います。

４　事業に要する経費（総事業費）

512,000 円

５　交付金申請額

501,300 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区

7　活動スケジュール、活動の内容　　（安全安心）

（単位：円）

実施予定時期	活動の内容	経費の内容	
		支出科目	金額
４月	青色回転灯防犯パトロール5月案内（毎週金曜日3人で実施）	通信費等	1,000
	土岐川堤防健康ウォーキング打合せ会議	食料費	2,000
	土岐川堤防健康ウォーキングチラシ（一般500枚回覧500枚）	印刷費	30,000
	健康福祉部会案内（土岐川堤防健康ウォーキング）	通信費等	1,000
	土岐川堤防健康ウォーキング参加賞（粗品@600円×150人）	消耗品費	100,000
５月	青色回転灯防犯パトロール6月案内（毎週金曜日3人で実施）	通信費等	1,000
	土岐川堤防健康ウォーキング賞品代（バロー券）	報償費	20,000
	土岐川堤防健康ウォーキング準備（軍手・ビニール紐等）	消耗品費	30,000
	土岐川堤防健康ウォーキング参加者へ煎餅飴・お茶の提供	食料費	30,000
６月	青色回転灯防犯パトロール7月案内（毎週金曜日3人で実施）	通信費等	3,000
	防災防犯部会案内（自主防災訓練）葉書（@63円×15人）	通信費等	2,000
	防災防犯部会（自主防災訓練）お茶（@200円×10人）	食料費	2,000
７月	青色回転灯防犯パトロール8月案内（毎週金曜日3人で実施）	通信費等	1,000
	普通救命講習会（案内切手@110×40人）	通信費等	5,000
	普通救命講習会（チラシ作成）	印刷費	20,000
	自主防災訓練まちづくり委員案内	通信費等	2,000
	自主防災訓練（手ぶらライト、簡易トイレ）（@1,000円×100人）	消耗品費	100,000
８月	青色回転灯防犯パトロール9月案内（毎週金曜日3人で実施）	通信費等	1,000
	自主防災訓練講師謝礼	報償費	20,000
	自主防災訓練（資料、マジック等筆記具）	消耗品費	8,000
	自主防災訓練参加者お茶（@180円×100人）	食料費	18,000
９月	防災防犯部会（自主防災訓練ふりかえり会議）お茶	食料費	2,000
	防災防犯部会（自主防災訓練ふりかえり会議）案内	通信費等	2,000
	普通救命講習会お茶（@130×45人）	食料費	6,000
	子ども高齢者見守り打合せ案内（長寿会・子ども会）	通信費等	5,000
	青色回転灯防犯パトロール10月案内（毎週金曜日3人で実施）	通信費等	1,000
１０月	青色回転灯防犯パトロール11月案内（毎週金曜日3人で実施）	通信費等	3,000
	第９回健康講演会案内	通信費等	2,000
	第９回健康講演会チラシ作成（1000枚）	印刷費	20,000
１１月	青色回転灯防犯パトロール12月案内（毎週金曜日3人で実施）	通信費等	1,000
	第９回健康講演会講師謝礼	報償費	30,000
	第９回健康講演会（資料）	消耗品費	3,000
	第９回健康講演会お茶（@130×45人）	食料費	6,000
	子ども高齢者見守り（チラシ作成）	印刷費	20,000
	子ども高齢者見守り（コマ等遊び道具）	消耗品費	7,000
	子ども高齢者見守り（お茶、菓子）	食料費	3,000
１２月	青色回転灯防犯パトロール1月案内（毎週金曜日3人で実施）	通信費等	1,000
１月	青色回転灯防犯パトロール2月案内（毎週金曜日3人で実施）	通信費等	1,000
２月	青色回転灯防犯パトロール3月案内（毎週金曜日3人で実施）	通信費等	1,000
３月	青色回転灯防犯パトロール4月案内（毎週金曜日3人で実施）	通信費等	1,000
合計			512,000

8　収支予算

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	予算額	備考
夢づくり地域交付金	501,300	
自主財源	10,700	
その他（　　）		
合　　計	512,000	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	予算額	備考
経費区分	活動の内容			
防犯事業	青色回転灯防犯パトロール 住民参加の防犯活動を行うことでより安全な環境を作り出す。	通信費等	16,000	パトロール当番案内
		小計	16,000	
防災と安全安心事業	自主防災訓練 災害に備えるために「自分の命は自分で守る」訓練で災害に対する知識や防災意識の高揚を図る。	消耗品費	108,000	手ぶらライト110人
		食料費	22,000	お茶
		通信費等	6,000	部会・資料送料
		報償費	20,000	講師謝礼
		小計	156,000	
	救急救命講習会 緊急時の対応について学ぶ。	食料費	6,000	お茶
		印刷費	20,000	チラシ
		通信費等	5,000	部会・案内
		小計	31,000	
健康づくり事業	土岐川堤防健康ウォーキング 地域住民の健康増進と絆を強くします。	消耗品費	130,000	養生テープ、ノベルティー
		報償費	20,000	賞品（ギフトカード）
		食料費	32,000	お茶・ジュース
		印刷費	30,000	チラシ4,000枚ラリーカード
		通信費等	1,000	部会・案内
		小計	213,000	
	健康講演会 健康に関する知識向上のため講演会を実施する。	報償費	30,000	謝礼
		消耗品費	3,000	
		食料費	6,000	お茶代
		印刷費	20,000	チラシ印刷
		通信費等	2,000	
		小計	61,000	
子ども高齢者見守り事業	子ども高齢者見守り隊 ふれあい活動を行うことで、子ども高齢者の見守りを実施する。	消耗品費	7,000	木製コマ
		食料費	3,000	お茶
		印刷費	20,000	チラシ
		通信費等	5,000	会議案内
		小計	35,000	
合　　計			512,000	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

潤いのあるまちづくり事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

課題
地域のつながりを強化し、住みやすい環境を作るために昨年度策定した「瑞浪地区地域計画２０２４」を実践していきます。また、地域住民が主体となり、学校と連携して、子どもや高齢者を含むすべての世代が参加できる活動を推進します。担い手不足や活動のマンネリ化に対処するためには、新しいアイデアや若い世代の参加を促すことが効果的す。
活動内容
１，花の苗配布活動
自治会や町内会に所属する団体や学校などが、地域の美化と環境づくりに貢献する花の苗配布活動は、公園や学校、道路沿いの花壇に花を植えることで、地域に潤いと活気をもたらします。参加する団体や学校は植え付け後の花壇の管理も担います。
２，心和ませ自然を守る活動
万尺川でホタルの生態系を守り、ホタルの幼虫を地域で育て、その生態について学ぶことを通じて自然環境の大切さを理解し、地域社会に貢献することを目的としています。ホタルの成長を支援し、美しい自然を次世代に継承しホタルが光り輝く万尺川を守る活動を推進していきます。
（１）ホタル
①ホタルが飛び交う万尺川を「ホタルが居着く川」となるよう次世代へ引き継ぐために里親を募集します。
②ホタルの幼虫放流と観る会を、瑞浪地区子ども会育成会連合会（瑞子連）と協働事業とし特に子供たちの安全を守り開催します。
③自然豊かな万尺川を守るたまに周辺の地域の皆さんと一緒に草刈りやごみ拾いなどの清掃活動を実施します。
（２）フジバカマの植栽活動（美しい蝶の呼び込み）
後世まで心和ませる自然環境を守るために、フジバカマの苗を学校と地域の花壇等に植栽します。アサギマダラ蝶は、フジバカマの花蜜から毒素（ピロリジン）を体内に取り込み鳥などの天敵から身を守ったり、花粉を運び受粉を助けます。地域の家族と子どもたちに美しい花と蝶の関係を知って頂くことにより、命と美しい自然環境の大切さを感じてもらいます。
３，絵手紙・ちぎり絵教室
絵手紙・ちぎり絵を体験することで、手書きのすばらしさや温もりと、参加者相互のふれあいを感じると同時に「つながり」と「楽しさ」を味わっていただく教室を開催します。
４，男女共同参画事業
男女共同参画は、性別に関わらず全ての人が能力を発揮し、活躍できる社会を目指す重要な取り組みです。多様なバックグラウンドを持つ人々が協力し合い、より公平で包括的な地域とするため、講演会などを開催し理解と意識を高める機会を提供します。
５，みずなみ美化
草刈りなどの清掃活動は歩道を清潔に保ち、犯罪を防ぐ効果があるだけでなく、地域住民の皆さんが協力し合うことでコミュニティの絆も強まります。この活動は、地域の美化だけでなく、住民の皆さんの生活の質の向上にも繋がります。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

１、花の苗の配布事業
希望する団体に、春４，５００ポット、秋３，５００ポット合計８，０００ポットと肥料を配布します。
２、心和ませ自然を守る
（１）ホタル事業
①里親を３組お願いし幼虫１，０００匹飼育します。
②「ホタルを観る会」は「瑞子連」との協働開催で、６月上旬開催し参加者は５００名を予定します。
③３月下旬万尺川周辺の地域の皆さんと「瑞子連」の子ども達と一緒に、万尺川の清掃活動を行いホタルの幼虫１，０００匹を放流します。
（２）フジバカマの植栽活動事業
苗３００本を購入または地域の愛好家などから譲受、地域の公園や学校の花壇に植栽します。
３，絵手紙・ちぎり絵教室
年６回開催、開催月の第1土曜日午後に開催します。参加者は、１回２０名で年１２０名の参加者を予定します。
４，男女共同参画事業
「男女共同参画社会」に関する講演会を１回５０名の参加者で行います。
５，みずなみ美化（草刈り隊）事業
寺河戸地区、小田地区、山田地区の３地区に１組以上の草刈りチームを令和７年度末を目標に組織します。

４　事業に要する経費（総事業費）

826,500 円

５　交付金申請額

806,500 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区

7　活動スケジュール、活動の内容　　（潤い）

（単位：円）

実施予定時期	活動の内容	経費の内容	
		支出科目	金額
４月	５月絵手紙・ちぎり絵教室開催案内（@85円×35人）	通信費等	3,000
５月	花の苗（春）配布案内（@85円×35団体×2）	通信費等	6,000
	ホタル観る会案内（瑞子連関係@85円×35団体）	通信費等	3,000
	花の苗配布（@70円×3600ポット），肥料	消耗品費	275,000
	絵手紙・ちぎり絵教室（絵葉書、墨汁、半紙購入）	消耗品費	5,000
	フジバカマ苗（@400円×100本）	消耗品費	40,000
	蛍の幼虫餌（@1,200円×5kg+送料）	消耗品費	6,500
	総務広報部会（フジバカマ植栽）お茶（@200円×10人）	食料費	2,000
	蛍飼育里親飼育セット（@15,00円×2）	消耗品費	30,000
	男女共同参画社会講演会（チラシ）	印刷費	20,000
	フジバカマ配布引き換え葉書（@85円×35団体）	通信費等	3,000
６月	総務広報部会（男女共同参画講演会）お茶（@200円×10人）	食料費	2,000
	７月絵手紙・ちぎり絵教室開催案内（@85円×35人）	通信費等	3,000
	蛍鑑賞会ジュース、菓子（@70×250人）	食料費	20,000
７月	男女共同参画社会講演会講師料	報償費	20,000
	男女共同参画社会講演会（講演台生花他）	消耗品費	14,000
	男女共同参画社会お茶	食料費	2,000
	みずなみ美化（お茶とお菓子）	食料費	3,000
	絵手紙・ちぎり絵教室講師料	報償費	10,000
	みずなみ美化（充電式バリカン２台）	備品費	45,000
８月	フジバカマ飼育依頼葉書（@85円×35団体）	消耗品費	3,000
	総務広報部会（フジバカマ植栽）お茶（@200円×10人）	食料費	2,000
	蛍の幼虫餌（@1,200円×5kg+送料）	消耗品費	6,500
	９月絵手紙・ちぎり絵教室開催案内（@85円×35人）	通信費等	3,000
	１０月絵手紙・ちぎり絵教室開催案内（@85円×35人）	通信費等	3,000
	絵手紙・ちぎり絵教室（絵葉書、墨汁、半紙購入）	消耗品費	5,000
	蛍の幼虫餌（@1,200円×5kg+送料）	消耗品費	6,500
１１月	花の苗配布（@70円×3060ポット），肥料	消耗品費	240,000
	花の苗（春）配布案内（@85円×35団体×2）	通信費等	6,000
	１２月絵手紙・ちぎり絵教室開催案内（@85円×35人）	通信費等	3,000
１月	２月絵手紙・ちぎり絵教室開催案内（@85円×35人）	通信費等	3,000
２月	絵手紙・ちぎり絵教室生徒募集チラシ	印刷費	20,000
	蛍の幼虫餌（@1,200円×5kg+送料）	消耗品費	6,500
３月	蛍の幼虫餌（@1,200円×5kg+送料）	消耗品費	6,500
合計			826,500

8　収支予算

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	予算額	備考
夢づくり地域交付金	806,500	
自主財源	20,000	
その他（　　）		
合　　計	826,500	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項			支出内容	予算額	備考
経費区分	活動の内容				
花の苗配布	コミュニティ花壇整備事業で花の苗を春と秋に地域の団体に配布し潤いのある地域環境づくりを推進する。		消耗品費	515,000	7000P×@70円
			通信費等	12,000	苗引き換え葉書
			小計	527,000	
自然を守る	チームホタル	環境美化保全を推進するとともに、家族の絆を強くする。万尺川を蛍が居着く川とするために幼虫飼育の里親を確保。ホタルを観る会と万尺川の清掃活動を実施する。	消耗品費	62,500	水槽・カワニナ
			食料費	20,000	お菓子、お茶
			通信費等	3,000	放流・蛍観る会
			小計	85,500	
	フジバカマ植栽	後世まで心和ませる自然環境を守る。美しい蝶とフジバカマを残すために民家の花壇に苗を植えます。	消耗品費	40,000	苗×@400円
			食料費	4,000	お茶
			通信費等	6,000	部会
			小計	50,000	
絵手紙教室	絵手紙を体験することで、参加者相互のふれあいを感じると同時に「つながり」と「楽しさ」を味わい絆を強くします。		報償費	10,000	講師謝礼
			消耗品費	10,000	葉書等
			印刷費	20,000	
			通信費等	18,000	案内
			小計	58,000	
男女共同参画事業	まちづくり事業活動に、女性が参加していただくためにも「正しい男女共同参画とは」などの講演会を開催する。		報償費	20,000	講師謝礼
			印刷費	20,000	チラシ
			消耗品費	14,000	演台生花
			食料費	2,000	お茶
			通信費等	2,000	葉書等
			小計	58,000	
環境美化チーム	草刈り隊 環境美化と地域コミュニティの活性化を目的に組織創り活動します。 通学路を中心に歩道の草を刈ります。		備品費	45,000	充電式バリカン2台
			食料費	3,000	お茶
			小計	48,000	
合　　計				826,500	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

地域内の交流が活発なまちづくり事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

課題
瑞浪地区の取り組みは、地域と学校が協力して多様な課題に対応しながら、家族を中心にした活動を通じて連帯感を育むことで、住みやすい環境を作り出すことを目指します。この地域づくりは、社会の変化に柔軟に対応し、地域の絆を強化する重要なステップです。また、地域学校協働活動を推進し地域の課題解決につなげていきます。
活動内容
１，体験農業事業
さつま芋苗の植付け
子どもが主役となって地域ぐるみ家族ぐるみで実施、つながりがある交流を深め地域の絆を強くします。
２、家族ふれあい芋ほり大会事業と「青空ワークショップ」
食の大切と収穫の喜びを感じ、地域のつながりがある交流を深めるとともに家族の絆を強くすることを目的に実施します。「芋ほり大会」には、家族単位で参加し一番大きいさつま芋1個の重さで競い、1位から10位までの順位を決め表彰します。また、協働事業として瑞浪地区子ども会育成連合会（瑞子連）や地域貢献活動企業と一緒に行います。芋ほり大会後、農園に多く参加している若い２０代世代の方が主になって、担い手不足などの課題解消のためのアイデア創出に繋がる「青空ワークショップ」を行います。
３，自然とのふれあい事業
①ニホンミツバチ飼育
環境指標生物でもある「ニホンミツバチ」の生態を、子どもたちに身近に感じていただく事により、自然環境でミツバチが野菜や果樹に自然にはたしている役割などを学習します。（東濃農林事務所には「飼育届」を提出済です。）
②カブトムシ飼育と昆虫採集
地域の子ども達に身近な昆虫の一つカブトムシの飼育を通して昆虫に興味を持ってもらうと同時に、昆虫が生存できる自然環境の大切さを伝えていきます。子どもたちが夏休みの夜間、発電機の照明を利用し家族で昆虫採集を実施します。
４，寺子屋事業
近年地域の子ども達と大人がつながりができる環境や組織も少なくなっています。子どもたちの居場所創りを中心に夏休みを利用して、「寺子屋」を駅前地域の賑わいづくりをかねＭビルを利用し開設・運営を行います。サポーターは域学連携を活用したり、元教員や地域住民、学生、保護者などが寺子屋先生役としてボランティア募集して実施します。生徒とサポーターの募集方法は、チラシを作成し回覧や新聞折込で募集します。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

１，体験農業事業
・さつま芋の植え付けに参加者２０家族５０名で実施します。
２，家族ふれあい芋ほり大会事業
芋ほり大会の参加者８０家族３００名で行います。農園管理は延べ２５０名で行います。
「青空ワークショップ」には、５家族２０名程度で実施します。
３，自然とのふれあい
①ニホンミツバチ飼育事業
小中学生を対象に、ミツバチが野菜や果樹に自然にはたしている役割などの学習会を開催します。参加者する子どもは２０名を予定します。
②昆虫採集事業
小中学生を対象に、７月下旬から８月（夏休み期間中）の夜間に、子ども５０名とその家族が参加して実施します。また、カブト虫の幼虫５０匹を飼育し、参加した子供たちに配布して引きつづき飼育していただきます。
４，みずなみ夏の寺子屋事業
活動を駅前地域のＭビルを利用し夏休み期間中に１回（５日間）開催します。参加者は1日５０名程度で延べ２５０名の子ども達で行います。サポーターは１日５名は確保し述べ２５名で行います。

４　事業に要する経費（総事業費）

867,000 円

５　交付金申請額

852,000 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区

7　活動スケジュール、活動の内容　　（地域内交流）

（単位：円）

実施予定時期	活動の内容	経費の内容	
		支出科目	金額
４月	芋の苗植えチラシ作成（1,000枚）	印刷費	20,000
	青少年部会案内と資料送付（@110円×25人）	通信費等	3,000
	青少年部会お茶（@130円×20人）	食料費	3,000
	ふれあい農園管理費（肥料・マルチ）	消耗品費	12,000
	傷害保険（損保ジャパン年間保険料）	保険料	60,000
５月	ふれあい農園耕運機燃料	光熱水費	4,000
	芋苗植え準備・ふれあい農園農具の購入（バイオトップマルチ・スコップ）	消耗品費	50,000
	芋苗植えお茶・ジュース・菓子（子ども50人分）	食料費	30,000
6月	畑耕耘機使用料、農園謝礼、駐車場謝礼	報償費	15,000
	ミツバチ教室案内（@85円×20人）	通信費等	2,000
	ミツバチ教室（子ども10人）お菓子・ジュース	食料費	3,000
	分蜂用巣箱1台	消耗品費	10,000
	ふれあい農園農具の購入（鍬）	消耗品費	10,000
7月	昆虫採集（捕獲布・照明用ガスボンベ等）	消耗品費	19,000
	昆虫採集ジュース・菓子（@500円×50人）	食料費	25,000
	公民館使用料	使用料等	20,000
	寺子屋講師謝礼（日／8人　5日間）	報償費	40,000
	絵手紙用はがき、B紙、筆記具、人札	消耗品費	7,000
	講師等お茶（5日間／120円×10人）	食料費	6,000
	寺子屋案内郵送（葉書・切手）	通信費等	6,000
	Mビル使用料（5日間）	使用料等	5,000
	寺子屋チラシ作成（2色@30円×1,000枚）	印刷費	20,000
8月	第6回芋ほり大会チラシ作成	印刷費	30,000
	芋ほり・ワークショップ案内（@140×50家族）	通信費等	7,000
	芋畑の草取り案内（切手@110×300家族）	通信費等	4,000
	いさつま芋畑（イノシシ対応電柵）	消耗品費	50,000
	イノシシ対応電柵	備品費	60,000
	イノシシ対応電柵設置工事（軽食、お茶）	食料費	6,000
９月	芋畑整備茶・お菓子（お茶、軽食）	食料費	15,000
	芋畑整備（スコップ、草取りスコップ）	消耗品費	40,000
	ふれあい農園農具の購入（備中２個）	消耗品費	30,000
	ふれあい農園耕運機燃料	光熱水費	3,000
１０月	託児所（一時預かり）	委託料	5,000
	芋掘り大会準備（軍手・そえ棒・荷札）	消耗品費	25,000
	芋掘り大会賞品（スーパー商品券）	報償費	17,000
	芋掘り大会（ジュース、菓子、お茶等）	食料費	160,000
	ポンプ燃料（芋、手足洗い）	光熱水費	5,000
	農園片付けお茶	食料費	2,000
	お堂使用料	使用料等	2,000
１１月	分蜂用巣箱1台	消耗品費	10,000
	ミツバチ教室案内（@85円×20人）	通信費等	2,000
	ミツバチ教室（子ども10人）お菓子・ジュース	食料費	3,000
	ワークショップまとめ郵送（@140×50家族）	通信費等	7,000
	耕運機借用と運用費謝礼（4月から12月）	報償費	10,000
2月	青少年部会お茶（@130円×15人）	食料費	2,000
３月	青少年部会お茶（@130円×15人）	食料費	2,000
合計			867,000

８　収支予算

（１）収入の部

（単位：円）

内　　容	予算額	備考
夢づくり地域交付金	852,000	
自主財源	15,000	
その他（　　）		
合　　計	867,000	

（２）支出の部

（単位：円）

事　　項			支出内容	予算額	備考
経費区分	活動の内容				
体験農業	さつま芋苗植え付けなどの農業体験を子どもが主役となって地域・家族ぐるみで実施、地域の交流を図り絆を強くします。		報償費	25,000	耕耘機謝礼
			消耗品費	180,000	餅芋苗・農機具・カマ
			食料費	59,000	お茶・ジュース・菓子
			印刷費	20,000	農業体験チラシ
			光熱水費	7,000	耕耘機燃料
			通信費等	4,000	部会、芋ほり案内葉書
			備品費	60,000	電柵機
			小計	355,000	
芋ほり大会	食の大切さと収穫の喜びを感じ、地域の交流を深めるとともに家族の絆を強くすることを目的に実施します。大会は家族単位で参加し、掘った芋1個の重さで競い合い、１位から１０位までの順位を決め表彰します。		報償費	17,000	賞品代
			消耗品費	40,000	新マルチ
			食料費	163,000	お菓子・お茶・ジュース
			印刷費	30,000	チラシ
			光熱水費	5,000	ポンプ燃料
			通信費等	14,000	案内葉書
			委託料	5,000	託児所
			保険料	60,000	レクリエーション保険
			使用料等	20,000	公民館・お堂
			小計	354,000	
自然とのふれあい	ミツバチ飼育	ミツバチが野菜や果樹に果たしている役割などを子どもたちに学習していただきます。	消耗品費	20,000	分蜂用網、巣箱
			食料費	6,000	お茶・ジュース・菓子
			通信費等	4,000	切手、はがき
			小計	30,000	
	昆虫採集	子ども達に昆虫が生存できる自然環境の大切さを伝え命の大切さを学んでいただきます。	消耗品費	19,000	捕獲布・照明用ガス
			食料費	25,000	ジュース・お菓子
			小計	44,000	
みずなみ夏の寺子屋	子ども達の居場所創りに夏休みを利用して「寺子屋」を駅前地域の賑わいづくりを兼ねＭビルを利用して開設・運営します。		報償費	40,000	講師交通費、謝礼
			消耗品費	7,000	B紙、絵手紙はがき
			印刷費	20,000	チラシ印刷
			食料費	6,000	お茶・弁当代
			通信費等	6,000	案内葉書
			使用料等	5,000	Ｍビル使用料等
			小計	84,000	
合　　計				867,000	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

広報事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

課題
まちづくり活動の周知と参加を促進するためには、多様なコミュニケーション手段を駆使することで、多くの人々にリーチ（目にとまる）する効果的な方法と思います。参加しやすい環境を整えることで、まちづくり活動への関心と参加を促進とともに、参加者に「わくわく感」を持っていただくよう努めます。担い手不足や活動のマンネリ化に対処するためには、新しいアイデアや若い世代の参加を促すことが効果的です。
活動内容
１，広報紙「まちづくり新聞の発行」
まちづくり推進協議会の活動を住民に紹介し、事業の理解とイベントへの参加を促進するため、まちづくり新聞を発行します。
２，みずなみ情報記者クラブ
市民の皆様に、まちづくりの取り組みやイベント情報を効果的に届けるために、総務広報部にみずなみ記者クラブを設置します。このクラブでは、特に子供の教育に関心の高い若い世代の方々を対象に、FacebookやラインなどのＳＮＳを通じて、瑞浪地区まちづくりの活動や事業など重要なお知らせを発信していきます。
３，その他の広報事業
平成18年に設置した「瑞浪地区まちづくり活動」をPRするための野立て看板の劣化が進んでいます。特に激しい入ケ洞池、上山田農園前の２カ所の野立て看板貼替を実施します。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

１、まちづくり新聞の発行事業
まちづくり推進協議会の活動を住民に紙面で紹介、事業の理解と事業への参加を促進するため、まちづくり新聞を年２回（８月・３月）全ページカラーで発行します。
２、みずなみ情報記者クラブ事業
みずなみ情報記者クラブの構成は、総務広報部長以下全部員で構成しクラブ会議を年４回開催します。クラブ会議開催あたり、運営方法や情報内容を検討しホームページなどの情報を更新します。
３、その他の広報事業
入ケ洞池、上山田農園前の２カ所の野立て看板貼替を年度内に実施します。

４　事業に要する経費（総事業費）

427,200 円

５　交付金申請額

417,200 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区

7　活動スケジュール、活動の内容　　（広報）

（単位：円）

実施予定時期	活動の内容	経費の内容	
		支出科目	金額
６月	まちづくり新聞編集会議案内（@85円×10人）	通信費等	850
	まちづくり新聞編集会議お茶（@130円×10人）	食料費	1,300
	みずなみ情報記者クラブ部会お茶（@130円×10人）	食料費	1,300
	みずなみ情報記者クラブ部会案内郵送	通信費等	850
7月	まちづくり新聞編集会議案内（@85円×10人）	通信費等	850
	まちづくり新聞編集会議お茶（@130円×10人）	食料費	1,300
	第51号まちづくり新聞発行（全頁カラー）	印刷費	175,000
９月	みずなみ情報記者クラブ会議お茶	食料費	1,300
	みずなみ情報記者クラブ会議案内郵送	通信費等	850
10月	野立て広告看板貼替（2枚下山田団地、まち農園）	手数料等	60,000
１１月	まちづくり新聞編集会議案内（@85円×10人）	通信費等	850
	まちづくり新聞編集会議お茶（@130円×10人）	食料費	1,300
12月	みずなみ情報記者クラブ会議お茶	食料費	1,300
	みずなみ情報記者クラブ会議案内郵送	通信費等	850
	まちづくり新聞編集会議案内（@85円×10人）	通信費等	850
	まちづくり新聞編集会議お茶（@130円×10人）	食料費	1,300
1月	みずなみ情報記者クラブ会議お茶	食料費	1,300
	みずなみ情報記者クラブ会議案内郵送	通信費等	850
２月	第52号まちづくり新聞発行（全頁カラー）	印刷費	175,000
合計			427,200

8　収支予算

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	予算額	備考
夢づくり地域交付金	417,200	
自主財源	10,000	
その他（　　）		
合　　計	427,200	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	予算額	備考
経費区分	活動の内容			
広報紙まちづくり新聞発行事業	まちづくり事業の理解と参加を促進するためにまちづくり新聞を発行します。	印刷費	350,000	まち新聞発行（全カラー）
		食料費	5,200	部会お茶
		通信費等	3,400	部会等案内葉書
		小計	358,600	
みずなみ情報記者クラブ	まちづくり事業の開催案内を周知、開催結果を効果的にＳＮＳを通して発信します。	食料費	5,200	部会お茶
		通信費等	3,400	部会案内葉書
		小計	8,600	
その他の広報事業	野立て広告劣化のため貼替補修をします。	手数料等	60,000	２ヶ所
		小計	60,000	
合　　計			427,200	

夢づくり地域交付金事業の様子

（瑞浪地区）

※ 写真は、令和７年度夢づくり地域交付金（通常事業）で実施する事業のイメージです

①　安全・安心なまちづくり事業

土岐川堤防健康ウォーキング	救急救命講習会
	

②　潤いのあるまちづくり事業

花の苗配布	蛍鑑賞会
	

③　地域内の交流が活発なまちづくり事業

稲刈り	芋掘り大会
	

④　広報事業

まちづくり新聞	野立て広告看板貼替
	